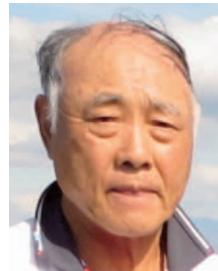


節目に一言

喜寿を迎えて (喜寿まで生きた証)

杉山 孝治

(昭和35年建築科卒)



秋工建築科を卒業して57年、会社には再雇用を含めて48年間勤務しました。離職してから9年を経て、此処までくる道のりは長い年月のよう短かったと感じる今日この頃です。これから先はもっと月日の経つのを早く感じる歳になるでしょう。

社会人生は会社組織の中で歩んできた道が一番長く、辛さ・苦しさ・情けなさ・楽しさが凝縮されていると思えます。入社時の若い頃は定期休暇も取ることも難しく、日給制の職人達からは専門知識の無さで脅かされたり、また作業手元(意: 専門職人の補助作業)にされたりしましたが、これらを通して専門知識を多く吸収できた事は間違いありません。軀体(くたい)工事のコンクリート打設などでは、朝7時頃から夜12時過ぎか、徹夜の連続作業が月3回ほどありました。また各協力業者への慣れない電話連絡での職人員数手配(現在は昼食後の職長会で済む)や、現場材料搬出の検収と伝票処理・作業日報事務処理などで休みなく働くので、自分の職業は過酷に思えてなりませんでした。他の職業は定期に休みも取れて清潔で楽なように見えて、一時転職を考えたこともありました。でも世間知らずの秋田男鹿半島出身の田舎者は先の当ての見込みもなく、中途退職する勇気もなくて、ただ我慢に耐えるのみでした。一つ良かったと思ったのは、職人方より教わった競馬場・競輪場で給料を使い果たして、現場宿舎に帰って来ると貰い婦が居て炊事・洗濯・掃除をしてくれるでの、無銭でも生活できました。若い頃に経験した上司や協力業者との料理屋やキャバレーなどで親睦を深めるための社会勉強や、工事完工時の慰安を兼ねた観光旅行、協力業者との研修旅行などによって、世間の仕組みや広さが少しづつ解りました。

また中堅職位になると人間関係の複雑さに悩まされました。議論をしてもなかなか正論が通らない、実際はむしろ逆のことが往々にしてあります。世間や組織では物事の表裏を考えた交渉力の勉強をしなければ、組織の一員にはなれないこともあります。会社の現場代理人として建築現場事業所の担当を任命されると、安全対策・工事施工価格作成や工事工程管理などが主な職務になります。しかし安全第一という標語の看板は一般でも良く見られますが、非常に範囲が広くて、安全向上を追及し過ぎると価格上昇を招くことになります。工事原価と安全を如何にしてバランスを取るかは大きな決断と責任を迫られます。万が一事故が発生した場合、現場代理人は被告人になる事もあります。工事施工価格作成は、工事遂行と工事利益率向上の基本となるのです。会社からは利益向上のため創意・工夫による工事施工方法の改善検討が要求され、また協力業者との工事価格交渉では、良質で低価格の実現で頭を悩まされます。工程管理に於いては、自然風雨による作業休みや職人予定員数不足による工程遅延対策で、夜も眠れない日もあり、体重が減少したことか幾度もありました。

1995年頃からバブル経済の崩壊により、工事受注量の減少傾向もあって、社員の早期退職勧誘の社内噂も広がりました。実際私の所属していた支店でも技術系と事務系の各数人が早期退職されました。早期退職された方の気持ちは知る余地もありませんが、数十年共に仕事をして来た同僚が、会社の要請で退職したことは、大変残念に思ったものです。

世の気付け薬と言われる酒類は、若い頃から飲むと身体に尋麻疹が出て、呼吸が苦しくなるので大嫌いでいた。しかし仲間の男性の大多数、また会社取引先の関係者が酒類好きなので、思い切って飲酒の練習を試みた結果、今ではお付き合いでビール一本まで何とか飲めるようになりました。大酒飲みとの喧嘩は幾度もありましたが、

酒飲みに羨ましさと憧れもありました。

長年これと言った趣味もなく過ごして來ての唯一の楽しみはゴルフです。30歳の初め、上司と行った初夏の那須高原某ゴルフ倶楽部での、初めて見るフェアウェイの大きくゆったりとくねる様子や、グリーン上は塵一つない芝生の清潔感、ゴルフ場のバックの山々が連続して繋がる遠景の素晴らしさに感動し、心に深く印象に残ったことが、ゴルフをするきっかけになりました。プレー数は30歳台で年約10回、40歳台で年約15回、50~60歳は主に土曜日年約55回、66歳以降72歳頃は年約130回、73歳初期に身体腰周りの故障のため年約60回、74歳~現在まで年約100回と、今までのプレー回数は約2,200回で生涯目標の3,000回(?)で生きて歩ける限りゴルフをしたいと思っています。プレーの内訳の一部は、東京秋工会で年3~4回、秋高連・けやき会で年1回、在籍していた支店建築部OB会で年4回、居住する町内会で年4回、近隣町内会で年4回、熊谷近郊市町村ゴルフ好き中々会で年6回、会社在籍時の現場近隣飲み屋ママ会で月1回、ゴルフ倶楽部月例会とゴルフ倶楽部各種競技会で年6回、その他会社在籍中の同僚や会社離職後にできた多くの友達仲間とのコンペなどです。ゴルフスコアは歳を重ねるにつれて下降気味になりますがそれでも楽しさは変わりません。



常陽カントリー倶楽部での東京秋工会ゴルフ会にて(右から2人目)

次に楽しみなのは旅行で、離職後は夫婦で物珍しに搔き立てられた海外旅行はヨーロッパ・ロシア・東南アジア・グアム島・サイパン島やオーストラリアなどに行きました。しかし最近はテロの被害に遭うような気がして、海外に出かける気になりません。国内旅行は最初

に団体ツアーや行き、一通り観光してから後日同じところを何回も旅行するのが好きで、京都6回、沖縄5回、屋久島2回、九州3回、四国4回、北海道は毎年初夏から晩秋に掛けて旅行をし、知床半島には6回も行きました。



これからも「人生は出来る限り楽しく!」をモットーに過ごしたいと思っております。

